



みんなの芸術学校

こどもホスピス芸術学校

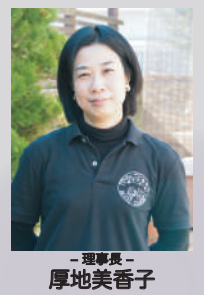
2024 年度 報告書



主催：認定 NPO 法人あっちこっち

助成：ナイキ・コミュニティ・インパクト・ファンド (NCIF)/ ドコモ市民活動団体助成事業





あっちこっちとは

あっちこっちは、東日本大震災をきっかけに2011年に設立した芸術を通じた社会貢献事業を行う団体です。「日常生活の中で、気軽に芸術を楽しめたら良いのに…」そんな思いで私たちの活動はスタートしました。私たちの主催するコンサートやワークショップで人々に笑顔を届けるのは若い優秀な芸術家たち。彼らと一緒に、もっと色々なところへ芸術を届け、笑顔になる人達をさらに増やしたいという思いで活動しています。

活動の特徴

あっちこっちのイベントは、ただ鑑賞するだけではなく、体験型になっており、一緒に参加して楽しめる内容になっているところが大きな特徴です。どんなことも出会い（入口）が大切です。より多くの方に芸術って楽しいなと思っただけのよう、アーティストが近い距離で全員が主役になって楽しめるような工夫をしています。

理念 アートでまちとひとを元気にします。	
ミッション 地域社会と芸術家をつなげることで、地域の課題を芸術の力で解決します。	
ビジョン 日常生活の中で身近に、芸術を見たり、聴いたり、体感したりすることでさまざまな人が、共に楽しく元気に生活することの出来る社会。	
バリュー 芸術には、あらゆる垣根をこえて、人の心を動かし、勇気づけ、癒し人と人をつなげる力があります。	

主要事業について

- みんなの芸術学校～こどもホスピス芸術学校 -

横浜市金沢区にある「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」「神奈川県立こども医療センター」で開催。学校に通えない難病の子どもに芸術を通して新しく学びながら楽しむ時間をお届けしています。

- 子ども食堂とアート体験 -

元ドヤ街である横浜市寿町で毎月1回開催。SDGsゴール1“貧困をなくそう”の「子どもの貧困問題」を広い視点から考え、子ども食堂という「食の支援」とアート体験による「心の支援」を行っています。

- 横浜市芸術文化教育プラットフォーム～アーティストが学校へ -

2015年より横浜市教育委員会よりコーディネートの委託を受け、音楽・美術・ダンス・伝統芸能など、幅広く活躍しているアーティストを直接学校へ派遣します。

- 国際交流 -

日本と海外のアーティストによる芸術を通じた社会貢献事業。子どものためのワークショップや被災地でのプロジェクトを行っています。

- 被災地支援 -

被災地へ赴きカフェコンサートをしたり、復興公営住宅やこども施設へボランティアによる手作りお菓子を届けています。

みんなの芸術学校～こどもホスピス芸術学校とは

治療や入院で学校に通えず、こども医療センターやこどもホスピスを利用する病児に、プロのアーティストが病状や興味に合わせた音楽・美術・ダンスの授業を年間を通じて届けるプロジェクトです。病院では治療が中心ですが、芸術を通して日常に彩りを加え新たな発見の機会を広げることで、子どもたちの笑顔を生み、生きる力につなげます。

こどもホスピスとは

病児と家族が、第二のおうちのように一緒に安心して過ごせる場所です。病気のために諦めていた「やってみたい」を叶えられます。日本におけるこどもホスピスの設立は欧米諸国に比べて遅れており、2012年に淀川キリスト教病院にこどもホスピス病棟が開設されました。独立型のこどもホスピスとしては、2016年大阪で開設された「TSURUMI こどもホスピス」が国内初の施設です。本事業の拠点である「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」は2021年11月にオープンし、独立型こどもホスピスとしては全国2カ所目の施設です。

事業背景、病児の現状

国が定める小児慢性特定疾病をもつ子どもは全国に115,012人※1、そのうち小児がんなどの生命を脅かす状態にある子どもの数は推定2万人とされています。「緩和ケア」が持っていた『治療を諦め、死を受容する』というイメージから『QOLの向上を目指し、豊かな生を積極的に支える』という概念への転換が世界的に起きており、定義自体も改訂・進化を重ねています。更に病児と家族が、遊びや余暇、レジャーなどを一緒に体験し『ともに』時間を過ごすことで、病気の辛さや日ごろの心身の重荷をおろせるレスパイトケア（余暇的休息）の提供が重要視されている現状があります。※2

※1 令和3年度衛生行政報告例、小児慢性特定疾病医療受給者証所持者数

※2 2023年9月日本のこどもホスピス コンセプトペーパー抜粋（公財）原田善積会

1年目（2021年度）の活動

①研修会への参加

②ヒアリング — 難病の子どもの為の宿泊施設など7つの施設・団体に行く。

認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト／りらの家／神奈川県立こども医療センター／特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン／社会福祉法人「訪問の家 朋」／チャイルド・ケモ・ハウス（兵庫）／横浜市多機能型拠点「郷」

③試運転 — こどもホスピス芸術学校、地域向けイベント

④参加アーティスト — 5名

2年目（2022年度）の活動

①こどもホスピス施設内での活動

- ・芸術学校として音楽・美術・ダンスの講師が病児への個別授業を14回開催
- ・施設に来られなかったお子さんに授業の動画を録音・編集し配信
- ・複数の施設利用家族がオンラインで集まり参加者全員で楽しめる授業を行う
- ・地域向けイベントを3回、お子さんが天国にいかれたご家族が集まるグリーンカフェでコンサートを1回

②ヒアリング — 難病の子どもの為の宿泊施設など、5つの施設・団体に行く。
ロンドン交響楽団 LSO ディスカバリー／ドレイク・ミュージック（英国ロンドン）／こどもホスピス・ヘレンハウス（英国オックスフォード）／TSURUMI こどもホスピス（大阪）／チャイルド・ケモ・ハウス（兵庫）

③参加アーティスト — 15名

3 年目（2023 年度）の活動

①こどもホスピス施設内での活動

- ・個別授業として、音楽を 13 回、美術を 10 回、ダンスを 2 回の合計 25 回
- ・オンライン授業は音楽を 2 回
- ・グリーンカフェでご家族のリクエスト曲を演奏するコンサートを 1 回
- ・地域向けイベントを 2 回

②ヒアリング — 難病の子どもをの宿泊施設など、3 つの施設・団体に行く。
すくすくハウス（千葉県我孫子市）／ドレイク・ミュージック（英国ロンドン）／
こどもホスピス・フランシスハウス（英国マンチェスター）

③参加アーティスト — 19 名

2024 年度活動アーティスト

●参加アーティスト 24 名

青木佑磨（ピアノ） 池羽由（ソプラノ） 市川友佳子（ヴィオラ） 伊藤早紀（ソプラノ）
岩下真麻（ピアノ） 植村真（美術） 岡田理佐子（ヴァイオリン） 加藤小百合（ヴァイオリン）
金井ゆり（ピアノ） 呉近竹（美術） 小鹿紡（作曲・ピアノ） 小宮哲朗（チェロ）
ストウミキコ（ダンス） 鈴木歌穂（作曲・ピアノ） 田中愛実（ピアノ） 長尾春花（ヴァイオリン）
中野亜維里（ソプラノ） 南條由起（ヴァイオリン） 早坂なつき（ピアノ） 福島未貴（トロンボーン）
水沼洋華（美術） 宮原健一郎（テノール） ルミコハーモニー（美術） 若狭英雄（ピアノ）

●プロジェクトリーダー



水沼洋華（美術）



岩下真麻（ピアノ）

活動支援について

「みんなの芸術学校～こどもホスピス芸術学校」は助成金や寄付金により運営しています。
この活動を長く続けていくために皆様に応援していただけますと幸いに存じます。
私共の活動に賛同してくださる方は、ぜひこちらの QR コードから寄付についてのページ
をご覧ください。当法人への寄付金は、最大 50%の税控除が受けられます。



寄付の詳細は
こちらから

実施内容

①個別授業

個別授業では、子どもだけではなくご家族や友人と一緒にすることもあります。

- 音楽 -

- 4月 ピアノ1回、ピアノ×美術1回
- 6月 ピアノ1回
- 8月 ピアノ×ソプラノ1回、ピアノ×ヴァイオリン1回
- 10月 ピアノ1回、トロンボーン1回、ヴァイオリン1回、ソプラノ×ダンス1回
- 11月 ピアノ1回
- 12月 ピアノ×ヴァイオリン2回、ピアノ×チェロ1回、ピアノ×ソプラノ1回
- 1月 ピアノ×ヴァイオリン×ソプラノ1回、ヴァイオリン×ヴィオラ1回
- 2月 ピアノ×美術1回、チェロ1回
- 3月 ピアノ×ヴァイオリン1回

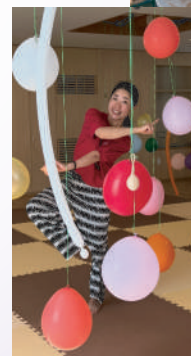
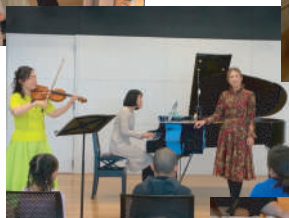
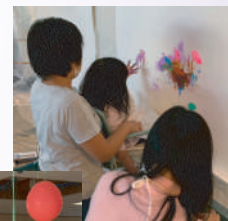
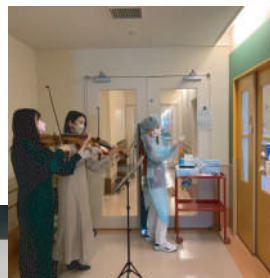
お誕生日に音楽をプレゼント。お子さんのお誕生日はもちろん、友達の誕生日をお祝いしたいというご依頼をいただきました。アーティストとオンラインで友達はどんな音楽が好きかなど打ち合わせをして、一緒に音楽をプレゼントしました。



リクエストによる参加型の動画配信「童謡アイアイ」

- 美術 -

- 4月 ピアノ×美術1回
- 8月 絵画工作1回
- 9月 工作教室1回
- 10月 工作教室2回
- 11月 絵画レッスン1回
- 12月 絵画レッスン2回
- 2月 ピアノ×美術1回



- ダンス -

- 10月 ダンス1回、ダンス×ソプラノ1回



- オンライン -

- 4月 歌とピアノ1回 6月 歌とピアノ1回 7月 歌とピアノ1回
- 8月 歌とピアノ1回 9月 歌とピアノ1回 12月 歌とピアノ1回



- グリーフカフェ -

- 12月 ピアノ×ヴァイオリン1回

グリーフケアとは死別の悲しみへのケアのことです。天国にお子さんが旅立たれたご家族が参加するイベントです。自己紹介やお子さんのお話を参加者で共有した後、アーティストが参加者全員のリクエスト曲を演奏します。



②ヒアリング

たんぽぽの家 – アートセンター HANA (奈良市六条西)

たんぽぽの家は障害のある方に生きる場を提供している施設で、音楽や演劇、美術など様々な活動に力を入れています。1975年からスタートした「わたぼうしコンサート」は、2025年で50周年を迎えます。演劇活動ではニブロールという演劇集団から指導を受けています。また、アート作品を制作する為に、全員に立派なアトリエが用意されています。大分、滋賀、大阪、東京など全国的に展示会や販売も展開しています。たんぽぽの家は「一般財団法人たんぽぽの家」「社会福祉法人わたぼうしの会」「奈良たんぽぽの会」3つの組織で成り立っており、お互い補い合って活動しています。特に利用者をメンバーと呼び、施設のスタッフと区別なくみんな同等に接している所に大変感銘を受けました。

奈良レスパイトハウス (奈良市雑司町)

奈良レスパイトハウスは奈良の大仏殿の隣にある、まるでこどもホスピスのような施設です。2010年から活動され、最初に作られたこどもホスピスとも言われています。関西から来るご家族が多く、施設内には手入れの行き届いた庭があり病児や障害をもった子どもたちと家族がリラックスして過ごすことができます。宿泊施設としての利用のほかに、日帰りで楽しめるイベントも多くあります。ボランティアさんの作った奈良県産の食材を使った料理や朝の大仏殿を参拝してから奈良の茶粥を頂く時もあります。

東大寺福祉療育病院 (奈良市雑司町)

親子レスパイトハウスと同じ東大寺福祉事業団が運営しています。障がいを持ったさまざまな背景のあるお子さんたちをケアしており、病状に応じて病棟が分かれています。伺った時は専従の音楽療法士さんがお子さんたちと演奏している時でした。

神奈川県立こども医療センター (横浜市南区六ツ川)

神奈川県立こども医療センターには「オレンジクラブ」と呼ばれるボランティア組織があり、専任コーディネーターがいます。診断・治療を受ける子どもたちとご家族が、毎月音楽やアート活動、フラダンス、大道芸などたくさんのイベントを経験出来るとても充実した医療センターです。子どもの興味関心がある絵工作や手芸を作って、院内を彩っています。季節やイベントごとに院内に飾るテーマも変わります。スタッフ一人一人の心遣いが素晴らしいと思いました。

NPO 法人 Small Step (横浜市南区榎町)

Small Step は医療的ケアが整った保育園で、健康なお子さんだけでなく、疾患を持ったお子さんも通えます。この施設は、代表のお子さんが疾患を抱えており、どの保育園にも受け入れられなかった経験から設立されました。所属している看護師からのアフターケアサービスを受ける事も出来ます。病児に寄り添った保育園です。月に1度ユニメロ (Universal Melodies) という誰でも参加出来る歌の音楽サークルを行い、Small Step の認知を広めています。



2025 年度の取り組み

これまでの活動を踏まえ、2025 年度は以下の 6 つを中心に実施します。

①芸術学校の定期開催

・これまでリクエストに応じて開催していた個別授業に加え、横浜こどもホスピスと神奈川県立こども医療センターの両施設で、毎月1回の定期開催を年間スケジュールに沿って行います。

②より充実した芸術学校運営

・毎回の芸術学校授業終了後にアーティストが実施レポートを書き、内容や反省点をチーム内で共有します。
・新規拠点での事例蓄積を進め、より状況に即した実践的プログラムを構築していきます。

③地域向け交流イベントへの出演

・こどもホスピスの認知向上や病児とその家族の現状を多くの人に知ってもらうために、地域向け交流イベントに参加・出演します。

④グリーンケアへの参加

・こどもホスピス主催のグリーンカフェでコンサートを開催します。ご家族からのお子さんの思い出を共有いただき、アーティストがリクエスト曲を演奏します。

⑤研修・視察の実施

・関連施設や医療機関の視察・研修会に参加します。登録アーティスト向けには勉強会を開催し、より病児とその家族に寄り添えるプログラムの制作に取り組みます。

⑥からだの動きに制限のあるお子さんに向けた電子楽器の導入

・手や指の力が弱いお子さんでも、視線や体の動きで演奏できる電子ピアノ（「だれでもピアノ」等）を導入します。

今後の展望

現在全国でこどもホスピスを立ち上げるプロジェクトが行われています。全国に展開されるこどもホスピスに本事業のプログラムを導入できるような仕組みづくりを行えるように考案しています。

①より病児の状況に添った実施形態の多様化

・病児の自宅へ訪問授業ができるように可能性を探ります。

②全国展開へ向けて

・全国のこどもホスピス設立準備団体、こども医療センター、療育施設などとの連携をめざします。

③本事業を継続するためのファンドレイジング活動

・事業の運営安定と継続のために、寄付や協賛会社を得るためのファンドレイジングの方法を学び、実行します。



音楽・アートで笑顔を!



私たちは人と人とアートでつなぎ、
コミュニティを笑顔にします。

認定 NPO 法人あっちこっち



認定 NPO 法人あっちこっち

〒231-0852 神奈川県横浜市中区西竹之丸 61-5
090-1261-1308

<https://www.acchicocchi.com/>